

「社会を明るくする運動」 作文コンテスト



「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

作文コンテストは次代を担う小・中学生がこの運動に対する理解を深めてもらうことを目的として行われます。

旭川地方内では小・中学校の部合わせて797作品が応募され、小学校の部で妹背牛小学校6年生の佐々木佑奈さんが優秀賞を受賞し、田中町長から表彰状と盾を手渡されました。

モー突進レポート

SHOW TIME 翔たいむ vol.31



田村翔惟です。今回は久しぶりの「ランチたいむ」です。「ばにはつ分家」さんにお邪魔して食レポートに挑戦しました。

「ばにはつ分家」は旭川市永山本店の店主から教わったレシピをもとに橋本篤子さんが平成27年に開業。平成30年に現在の場所へ移転。調理のメインはおもに娘さんが担っています。

今回僕がいただいたのは、橋本さんイチオシの「しおしょうがらーめん」と「ミニカレー」。注文してから数分経つと、厨房から食欲をそそる香り。らーめんの香りはもちろん、カレーのスパイシーな香りも漂ってきて、僕のお腹は臨戦態勢に。

料理が完成し、目の前に運ばれてきました。らーめんの見た目はやや透き通った黄色のスープの上からねぎ、メンマ、チャーシューなどのスタンダードな具材の他に、すり



店主の橋本篤子さん（写真左）と娘の夏樹さん（写真右）

ばにはつ分家 ランチたいむ

おろした生姜と紅ショウガ、白ごまが乗っています。カレーはシンプルな見た目。ではさつそく実食。まずはらーめんのスープから。あっさりとした中にも奥深い味わいと旨みがしっかりと感じられ、生姜の風味も上手くマッチしていて、非常に味わい深いです。次は麺。丁度いい硬さの中細ちぢれ麺で、スープともよく絡みます。また、上に乗っている生姜をスープに溶かしながら食べると生姜の風味がより強くなり、インパクトがあって美味しかったです。続いてはカレー。野菜をミキサーにかけてとろろになるまで煮込んでいるそう、スパイスが効きながらも野菜の甘みも感じられ、スプーンが止まらなかつたです。食べ終わったところにはもう汗だく。冬はもちろん、あえて夏にも食べたいメニューでした。次は他のらーめんをいただきます。またお邪魔します。

